

別記様式

会 議 録

会議の名称	令和 6 年度 第 6 回 大平地域会議
開催日時	令和 6 年 9 月 26 日 (木) 午後 6 時 30 分 開会 午後 7 時 40 分 閉会
開催場所	プラッツおおひら 2 階 多目的ルーム A
出席者氏名	別紙 1 のとおり
欠席者氏名	別紙 1 のとおり
事務局職員職氏名	別紙 1 のとおり
その他出席者等	別紙 1 のとおり
会議事項	1 開会 2 会長あいさつ 3 議事 (1) 栃木市都市計画マスタープラン(改訂版)及び栃木市立地適正化計画「防災指針」の策定について〔報告〕(都市計画課) (2) 栃木市産業基盤成長戦略(素案)について〔情報提供〕(産業基盤整備課) (3) 令和 6 年度栃木市地域自治交流会の開催について 4 その他 5 閉会
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴人の数	0 名
その他必要事項	
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	1 開会
会長	2 会長あいさつ
会長	3 議事
都市計画課	(1) 栃木市都市計画マスタープラン(改訂版)及び栃木市立地適正化計画「防災指針」の策定について〔報告〕(都市計画課) 〔資料に基づき説明〕
A 委員	以前の意見聴取のときに資料 P. 39 の地下捷水路の図内の文字が小さくて読めないと意見提出したのですが、修正反映されていないようです。せっかく分かりやすい図が入っているのに、文字が小さくて読めず残念です。今から修正は難しいですか。
都市計画課	修正したいと思います。

B 委員 都市計画課	巴波川の地下捷水路の工事について。遅れていると聞きましたが原因は何ですか。当初の予定から遅れると聞きましたが、申し訳ありませんが原因までは私共の部署では分かりません。
産業基盤整備課	(2) 栃木市産業基盤成長戦略(素案)について [情報提供] (産業基盤整備課) [資料に基づき説明]
B 委員 産業基盤整備課	産業団地整備区域に指定される地域は水田が多いと思います。水田を潰す計画になるのでしょうか。 実際に事業を進める段階になった場合は、地権者との合意形成をしたり種々の影響について検討したり、関係法令手続きや関係各所との調整をしながら進めていくことになります。
会長 産業基盤整備課	第 3 章(本市産業基盤の課題)の 2 について。A I や I o T、ロボット等の活用との記載がありますが、市としては現在どのような方針なのですか。 例えば、栃木 IC 周辺については、電力通信インフラが整っていることもあり、データセンター関連事業者を誘致しています。交通面が良ければ物流関係、地下水が豊富ならば食品関係など、地域の特性に合った企業を誘致していきます。
B 委員 産業基盤整備課	企業誘致は全国規模で誘致しているのですか。 現在、誘致情報を発信するとしても、市内に紹介できる団地がなく、企業側の立地ニーズに応えきれない状況と考えています。そこで、本計画を策定して誘導区域を設定し、ニーズに応じて誘致を進めていくとの意味にもなっています。前述のとおり、事業化の段階になりましたら、地権者や地元との合意形成、種々の影響の検討、開発の許認可等の手続きなど、関係法令や関係各所との調整をしながら進めていくことになります。
B 委員 産業基盤整備課	千塚産業団地には関西の企業が立地しており、社員さんの車のナンバーも関西方面であると聞きました。関西から社員さんを連れてきて栃木市内に移住してもらっているのでしょうか。 雇用について詳細に把握しておりませんが、栃木市で実施している企業立地奨励金の交付要件の中に市内在住者を一定数以上雇用するという要件があり、地元雇用を促す取り組みはしております。
C 委員 産業基盤整備課	第 4 章(栃木市産業団地整備区域の設定方針)について。再生可能エネルギーの利用可能性が高い地域である等の記載があります。具体的には何ですか。 栃木 IC 周辺におけるデータセンター事業実施可能性調査の中で、再生可能エネルギーに関する調査も実施しており、再生可能エネルギーの利用可能性が高いことが分かったため、本計画に記載しております。なお、再生可能エネルギーの大部分は太陽光発電となっております。

C 委員	太陽光発電設備ばかり増やして、自然が豊かな本市の魅力と相反してしまうのではないかと懸念しています。
産業基盤整備課	今回のこの部分の記載としては、あくまでも太陽光発電設備を増やしていくという意味ではないのでご理解いただければと思います。
会長	知人のところに、太陽光発電の業者さんが来て、畑をやめて発電設備をとの事業提案があったと聞きました。設備の設置には市の許可が必要と聞いていますが、どのような規制があるのでしょうか。
都市計画課	一般的には、農地に設置する場合は、農業委員会で農地法の農地転用許可が必要です。また、市条例で市の自然環境や生活環境などと再生可能エネルギー発電設備設置事業が調和を図る必要があるため許可を要するよう規制されています。景観条例でも、景観を損なわないよう規制されています。そのほかにも複数の規制があります。
D 委員	あくまでも工業分野の記載だけになっていると思います。農業も産業の一つととらえて、例えば大規模な農地の形成、A I の利用、若い世代の就農などといった農業分野の内容を記載する考えはありますか。
産業基盤整備課	他市や県の例では、農業や商業も合わせた産業全体としての計画を策定している自治体もございます。しかし、今回栃木市では、工業系企業の間合せに対応することが急務となっているため、工業分野に特化した内容となっています。
会長	第 7 章(成長戦略の目標及び評価)について。表中の値で、産業団地件数 11 件から 13 件で、2 件増加の目標値とありますが、この 2 件で企業件数としてはどのくらいを見込んでいますか。
産業基盤整備課	実際は、それぞれの企業側の必要面積のニーズもあり、分譲してみないと詳細は分からない面があります。 その下段の産業用地面積の目標値 430.5ha については、企業からの引き合いや各種統計データ等を活用し推計算出しています。
会長	今回このように設定したエリアは、市で整備をしていくということでしょうか。
産業基盤整備課	産業団地整備区域については、市で整備をしていきます。企業立地誘導区域については、あくまで企業が地元と合意形成を図って、企業が整備していくものになります。栃木市が整備するものではございません。
E 委員	感覚的でよいので、現状の間合せが多いのはどのような分野の企業でしょうか。
産業基盤整備課	物流、自動車部品製造、食品製造などいろいろな企業から間合せがあります。
都市計画課	(都市計画課 退席)
産業基盤整備課	(産業基盤整備課 退席)
(3) 令和 6 年度栃木市地域自治交流会の開催について	

事務局	[説明] ・大平地域会議から 2～3 名。 ・協議の結果、藤野会長、藤倉副会長、三井委員の 3 名に出席いただく予定となりました。
事務局	4 その他 (1) 令和 7 年度実施分地域予算事業計画書提出式及び栃木市地域会議連絡調整会議について（報告） [事務局より説明] (2) ふる里大平スポーツフェスタ 2024 について（連絡（再）） [事務局より周知] (3) 大平文化祭について（連絡） [事務局より周知] (4) 光と音のページェント 2024 について（連絡） [事務局より周知] (5) 大平地域会議だよりについて（連絡） [事務局より説明] (6) 次回 大平地域会議 令和 6 年 11 月 28 日(木)午後 6 時 30 分から プラットフォーム 2 階 多目的ルーム A ・案件がないときは中止の場合があります。 5 閉会

別紙1 出席者、欠席者、事務局職員、その他出席者等

<委員> 出席 14 名／定員 15 名

出席	職	氏名	出席	職	氏名
○	会長	藤野 晴彦	○	副会長	藤倉 竜広
○	委員	青木 理恵	○	委員	阿部 誠
○	委員	荒山 菜穂子	○	委員	伊藤 政博
○	委員	植原 瑞恵	○	委員	尾花 正人
○	委員	川田 健太郎		委員	小堀 和子
○	委員	清水 泰子	○	委員	田村 誠志
○	委員	仲三河 マコト	○	委員	三井 健
○	委員	柳田 和子			

<事務局>

出席	職	氏名
○	大平地域まちづくりセンター 所長 （大平地域づくり推進課 課長）	小島 清
○	大平地域まちづくりセンター （大平地域づくり推進課 副主幹）	牧島 聡
○	大平地域まちづくりセンター （大平地域づくり推進課 主査）	三浦 正明
○	大平地域まちづくりセンター （大平地域づくり推進課 主査）	山口 友香

<その他出席者等>

氏名	備考
大出 隆洋	都市計画課 計画景観係 主査
石川 陽一	都市計画課 計画景観係 主任
大崎 滉平	産業基盤整備課 基盤整備係 主事